

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第13回西脇市まち・ひと・しごと創生会議
開催日時	令和7年12月12日（金） 午後2時から午前3時45分まで
開催場所	西脇市市民交流施設 あつまるスタジオ
出席委員の 氏名又は人数	7名
欠席委員の 氏名又は人数	3名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局4名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	3名
議題又は 協議事項	1 地方創生と西脇市の取組について 2 その他
会議の記録（概要）	
発言者	<p>< 開会 ></p> <p>○資料確認</p> <p>○交代委員紹介</p> <p>○会議成立の報告</p> <p>1 会長あいさつ 今回のテーマは「経済」である。私の研究テーマの1つに農村のスマート化があり、学生とともに取り組んでいる。大学生は専門的な知識を持っていないことが多いが、地域の方々への聞き取りを重ね、「つぶやき」を拾い上げるよう指導している。「つぶやき」にヒントが含まれている。本日も、気軽につぶやくような気持ちで発言していただ</p>
事務局	
会長	

	<p>ればと思う。</p> <p>2 西脇市まち・ひと・しごと創生会議</p>
事務局	資料2に基づき、事務局から説明
会長	<p>経済分野について、事務局から人口や産業別のさまざまなデータと市の取組について説明があった。各委員には、専門分野や関心の高い分野について自由にご意見をいただきたい。「つぶやき」や「質問」を含め、自由闊達に話していただけると幸いである。</p>
会長	<p>資料2の7ページで土地利用の課題について、特に山に近い場所は土地が狭く、企業立地に適した土地が少ないとのことであったが、「ニーズはあるが供給できない」のか、「そもそもニーズがない」のか、土地の少なさをどのように評価しているか教えてほしい。</p>
事務局	<p>県内の大型産業用地は余剰が少なくなっていると聞いている。企業の国内回帰の流れもあり、地理的に不利な地域でも需要が出てきていると認識している。沿岸部の大きな自治体のような大規模開発は難しいが、土地の面積に見合った開発を行い、企業を呼び込むことは可能だと考えている。</p>
会長	<p>陸上交通を前提とすると「距離がある」ことは短所になるが、10年・20年先に空の移動が一般化すれば、山沿いが利点となる可能性もある。このように、現在は夢のような話でも良いので発言してほしい。</p>
会長	<p>最近是全国的にクマによる被害が話題になっている。これまで確認されていなかった地域でも目撃が増えるなど被害が拡大しているようである。西脇市では鳥獣による危険はあるのか。</p>
事務局	<p>クマについては、市内で目撃されたという情報があるが、増加しているわけではないようである。また、兵庫県全体では頭数管理が比較的うまくいっており、但馬地方で人身被害が発生したとの報道はあったものの、全体としては適</p>

	<p>切に対応できているとの評価のようである。</p> <p>なお、昨日はサルが市内で目撃され対応に追われたと聞いている。</p>
委員	<p>資料2の3ページに人口、4ページに事業所数・従業者数のデータがある。生産年齢人口は、2015年から2025年の10年間で20%弱減少している一方、従業者数は10%あまりの減少と、人口ほどには減っていない。これは「頑張っている」と評価できるのではないか。</p>
事務局	<p>そのようなご意見はあまりいただかないので心強い。多面的な見方がある、と参考になる。</p>
会長	<p>複数の資料をクロス分析すると興味深い発見がある。</p>
委員	<p>1点目に、大型商業施設がなくなり、1か所で必要な買い物ができなくなったことを不便に感じている。また、大型商業施設の撤退により、市の集客力が低下し、寂しくなったと感じる。</p> <p>2点目に、全国大会にも出場する西脇工業高校があるにもかかわらず、市のマラソン大会「へそマラソン」がなくなったことに疑問を感じている。復活を望んでいる。</p> <p>3点目に、音楽イベントが物足りないと感じており、有名なピアニストを呼ぶなど、よりレベルの高い催しを期待する。</p>
会長	<p>へそマラソンはなぜ中止になったのか。</p>
事務局	<p>マラソンブームを背景とした大会の乱立によって集客が分散し、運営が厳しくなったことが理由のひとつである。全国的にも伝統的なマラソン大会が中止になっている。また、担い手不足もある。陸上関係者が運営を支えてきたが、後継者の確保が難しかったと聞く。高校生の駅伝大会は継続しているが、総合的な判断でへそマラソンは終了した。復活を望む声については認識している。</p> <p>大型商業施設の復活は難しい問題である。総合スーパーはかつて広く立地が進んだが、専門店やオンラインショッピングの台頭で競争力が低下した。残念ながら再びこの業態が盛り返すことは難しい面がある。</p>

	<p>文化系イベントについては全体を把握しているわけではないが、オリナスの開館により様々な催しが行われており、市外からの集客も見られる。アピカホールもあり、客席規模に応じた使い分けが必要だが、誘客につながる文化系イベントの検討が必要だと考えている。</p>
委員	<p>オリナスで様々な催しが行われているが、子ども向けの催しが多く、よりレベルの高い催しを期待する。</p>
委員	<p>資料にはないが、現在整備が進んでいる国道 175号線について伺いたい。道路整備は西脇市にとってプラスか、あるいは通過されてしまってマイナスになるのか。見通しを教えてください。</p>
事務局	<p>国道 175号線は兵庫県の基幹道路に位置付けられており、将来的には丹波地域と結ぶことを目指している。道路整備が進むことで、人の流れは大きく変わり、地域にとって良い影響があると考えている。先日開通した東播磨南北道路は加古川市と北播磨地域を結び、西脇北バイパスは黒田庄地域へのアクセス性を高めている。これらにより沿岸部から西脇市北部への移動がしやすくなる。アクセス性の改善を契機に企業誘致を進めたいと考えている。また、西脇市へのアクセス性が向上することを観光面でも生かすため、通過されてしまわないように案内や誘導を行っていくことが重要だと考えている。道の駅周辺や日本へそ公園、日時計の丘公園など、近接施設を活用し、西脇の食や自然の豊かさを伝える地道な取組も進めたい。</p>
委員	<p>市外の知人からは「ラーメンを食べに西脇に行く」と聞くことが多いように思う。また、小さな子どもがいる知人からは、子どもも楽しめる場所はないかと尋ねられるが、どこを案内すれば良いか困っている。</p>
事務局	<p>西脇市には手軽に登れる低山があり、ハイキングマップを作って非日常を感じられる場所を案内している。また、あまり知られていないが、播州織の製造工場が見学可能な場所もある。地域資源を伝える努力が必要であり、強みである食や自然を入り口に、播州織など他の地域資源につなぐ取組が重要だと考えている。</p>

会 長	<p>国道 175号線は信号が多く渋滞しやすいため、神戸方面へ向かう場合など、所用時間が読めないことがネックだと思う。海外では専用レーンを設けるなど、混雑部分のボトルネック対策が行われている。日本でもそのような対策が進んでほしい。</p>
会 長	<p>労働環境や働き方、播州織についても何かあれば伺いたい。資料2の15ページから17ページに就業者数等のデータが示されているが、働きたいと考えている女性は多いのか。</p>
委 員	<p>女性活躍の話ではないが、産業分類別の従業者数（資料2の5ページ）では、製造業の中でも繊維工業の従業者数が際立って多いとなっている。西脇で繊維工業と言えば播州織をイメージするが、播州織の生産状況は右肩下がりというデータも示されている（資料2の8ページ）。一方で、課税所得金額（資料2の14ページ）は増加傾向にあるため、どこが所得増加を牽引しているのかを把握すれば、人を惹きつける産業が見えてくるのではないか。</p>
事務局	<p>製造品出荷額以外に労働生産性に関する統計データもあり、金属製品製造業や食料品製造業の労働生産性が高いと記憶している。</p> <p>播州織が右肩下がりなのは事実であり、従事者は多いが生産性を向上させ、付加価値を高めていく必要がある。最終製品の創出や付加価値向上のための情報発信が重要だと考えている。また、新たな産業への転換や企業誘致も同時に進めていくことが大切だと考えている。</p>
委 員	<p>弊社も繊維工業に該当するが、学生や異業種から転職してきた人から「糸偏は基本的に賃金が安い」という意見が多い。初任給は同じでも生涯賃金が低く、若者が選びにくい職種になっている。播州織も重要だが、若者を呼び込むには他業種の存在も必要だと考える。</p>
会 長	<p>伝統を守ることと主流であり続けることは必ずしも一致しない。時代に応じて変化することもある。</p>
事務局	<p>リアルな現場の声を聞けてありがたい。製造業の中でも</p>

	<p>活気のある分野があるので、地元の若者や高校生に知ってもらうことが重要だと思う。県や高校とも連携して進めたい。</p>
<p>会 長</p>	<p>複数の委員からも意見があったように、基礎データを組み合わせることで別の面が見えてくることがある。2次元・3次元のクロス分析は可能か。例えば、人口と〇〇、産業別の生産額の伸びなど、組み合わせれば面白いスキマが見つかるかもしれない。ハードルは高いと思うが検討してほしい。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料2の16ページで、女性のM字カーブの解消について説明があった。クロス分析的に言うとM字カーブの解消が出生率低下につながるという単純な因果関係とされるのは違うと思っている。M字カーブの解消でも「働きたくて働ける」状態なら良いが、「働かざるを得ない」状況もあり得る。M字カーブ解消が本当に喜ばしい状況かは分からない。M字カーブが解消され、働きながら出産しやすく、自己実現もしやすいとなれば喜ぶのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>日本では所得が上がらないために共働きを余儀なくされる面がある。ダブルインカムになっても相対的に給料が抑えられ、豊かになるわけでもなく子育てしやすくなるわけでもない、という構造的問題が指摘されている。</p> <p>先ほど、「女性は本当に働きたいと考えているのか」といったお話があったが、自分の力を発揮したい女性も多い一方で、若い世代からは「専業主婦が良い」という声もあり、女性活躍の揺り戻しも見られる。労働人口減少の中で女性の活躍は必要だが、そのせめぎ合いが現在の状況だと感じる。</p> <p>西脇市では、比較的親の近くで子育てができる環境があり、夫婦から生まれる子どもの人数が顕著に減少しているわけではないが、都市部では孤独な育児や高い住宅価格のために第2子を諦める傾向があり、日本全体で出生率低下につながっている。専業主婦で、ゆっくり育児をするという選択を許さない社会になっているとも感じる。</p>
<p>委 員</p>	<p>自身は西脇で生まれ育った。両親と同居し、近くに子どもの家族が住んでいる。そのような環境は周囲から幸せだ</p>

	<p>と言われることもあるが、孫の世話などで若い人に頼られる一方、将来的には親世代への責任もあり悩みを抱えている。同世代の友人も同様の思いを持っている。本日のテーマの1つである観光などで活躍する人の話を聞くと取り残された気持ちになる。仮に自分の時間があっても、何をすれば良いかわからないという複雑な思いがある。</p>
<p>会 長</p>	<p>子どもが祖父母世代と関わることは子どもにとって良い影響があると思うが、それが祖父母本人にとって良いと感じるかどうかは別問題と思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>少子化や人口対策を考える上では、ダブルケアなどの課題を抱える方にも寄り添うことが重要だと考えている。</p>
<p>委 員</p>	<p>地域での取組を紹介したい。西脇市西側の地域は空き家が多く限界集落化が懸念されているが、最近では若い人が頑張っている。例えば、管理されていない竹林で間伐を行い、間伐材を使って灯籠や箸づくりのワークショップを実施している。また、養蜂でハチミツを作っており、将来はハチミツを販売できる規模に拡大したいという思いもある。こうした活動は地域団体が取り組んでいるが、地域の高校生も参加してくれており、今では他地域へ広める活動も行っている。</p> <p>地域には高齢者が多く、子どもが少ないため、地域のこども園には、隣接地域から通う子どももいる。小学校に進学すると友人と離れてしまうが、そうした子どもたちが定期的に集まる会を催すなど、若者が地域に集うきっかけとなっている。</p> <p>先ほどハイキングマップの話もあったが、地域にも良い山が多数あり、補助金を活用して山の整備を行っている。神戸市など市外からも登山客が来ている。</p> <p>地域のふれあいイベントは今年で3回目となり、回を重ねるごとに地域外からの参加者が増加している。自分たちの地域は自分たちで盛り上げていく必要があり、小さなことをコツコツ続けていくことが大事だと感じている。</p>
<p>会 長</p>	<p>希望の持てる素敵な話を聞かせてもらった。竹は厄介なものという認識から、小さな産業として芽生えているように思う。また、最近では高校と連携したまちづくりの取組も</p>

	<p>各地で増えている。地域産業の中心にならなくとも、プロジェクト研究など、実践の場として高校生が関わるのは良いことだと思う。</p>
事務局	<p>委員から紹介いただいた地区ではユニークな取組をしている。西脇市のいちごの産地化の取組もこの地区からである。地域の資源を生かし、住民主体で取り組まれている。</p>
会長	<p>単独の産業も大切だが、今後は掛け算（組み合わせ）が重要となる。掛け合わせることで双方にメリットが得られる。竹×高校生などのような取組は参考になる。</p>
委員	<p>動画共有サイトで観た事例を紹介する。公道を完全封鎖してクローズドコース化した峠でレースを行うイベントがあり、警察などと連携して実施されていた。通常ならば迷惑と思われるようなことも、イベント化することで面白さに変わり、多くの人を訪れていた。田舎ならではのイベントだと感じた。</p>
事務局	<p>都会では難しいことでも田舎では可能になることがある。地域限定や時間限定で一部規制を緩めるという発想は参考になる。</p>
会長	<p>四輪駆動車（四駆）には根強い人気があり、スピード系やオフロード系など面白い取組だと感じた。</p>
事務局	<p>イベントを継続的に実施することで、人を呼ぶことができるという面もあるため、継続性は大切だと考えている。</p> <p>一方、民間主体の新しい取組も行われたため紹介する。今年11月、市内で民間主催のコスプレイベントが初めて開催され、1,000～2,000人の来場があったようである。サブカル系イベントは集客が見込め、今後も継続して実施される可能性がある。</p> <p>委員からご紹介いただいた峠でのレースに関連して、西脇の車のイベントとしては、2年に1度のクラシックカーのイベントがある。こうしたイベントが定着していくことで、イベント以外での来訪にもつながり、交流人口の増加が期待できると考えている。</p>

会 長	<p>クラシックカーの取組は面白いと思う。ニュージーランドでは決まった日にクラシックカーでまちなかを走る日があり、開催日を固定すると予定を空けてもらいやすく、集客につながる。</p> <p>サブカル系イベントは外国人にも日本人にも人気があり、地域資源とうまくつなげて実施すれば効果はさらに高まると思う。</p>
委 員	<p>先日、市役所で「播州織を着よう DAY」が行われていた。そのような小さな取組も継続していくと良い流れになると思う。</p>
事務局	<p>播州織の着用は任意であるが、若手職員を中心に、企画段階から盛り上がるよう取り組んだ。メディアにも取り上げられており、このように露出の機会を増やすことは重要だと考えている。</p> <p>また、播州織については、中学生に播州織のシャツをプレゼントする取組なども行っており、産業に直結しない活動でもアイデンティティを築いていく上で有効だと考えている。</p>
会 長	<p>小さな取組でも続けていると大きな流れになることがある。スモールスタートが良いと思う。</p>
事務局	<p>3 その他</p> <p>活発なご意見やご質問をいただき感謝申し上げます。</p> <p>国の方向性にも注視しつつ、本日いただいたご意見なども踏まえ、国の支援制度の活用を検討していきたい。</p> <p>< 閉会 ></p>
問合せ先	<p>西脇市市長公室経営戦略課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>